

**THE MORE PEOPLE WALK,
THE BETTER THE PATH WILL BE.**

発行日： 2019年 6月25日

発行所： 学校法人敦賀気比高校附属中学校

1学期期末考査 時間割発表

		7月2日(火)	7月3日(水)	7月4日(木)	7月5日(金)
1年	1限目	理科(小野)	国語(今井)	幾何(中村)	英語(上窪)
	2限目	家庭科(武生)	社会(天谷)	英語(田中)	代数(天野)
	3限目	社会(天谷)			
2年	1限目	国語(今井)	幾何(天野)	代数(中村)	英語(矢部)
	2限目	代数(中村)	理科(小野)	英語(田中)	社会(井上)
	3限目	家庭(竹中)			
3年	1限目	英語(矢部)	数A(中村)	国語(今井)	英語(田中)
	2限目	国語(依藤)	社会(古谷)	数I(天野)	理科(堂野)
	3限目	社会(古谷)			

網掛けは授業です。明朝体になっている所が考査です。

閑話休題

いよいよ期末考査一週間前になりました。こつこつ勉強やっていることと思いますが、ちょっと違った視点で話をしてみたいと思います。

皆さんは「複眼」でものを見るとか「複眼的思考」などという言葉聞いたことがあるでしょうか。複眼とは元来、昆虫類、甲殻類などがもつ眼をさし、小さな個眼が多数集合してできている眼のことを言います。複眼について調べたところ、複眼には大きく3つの利点があるそうです。1つ目は、視野がほぼ360°存在するということ、2つ目は、動きを敏感に検知できるということ、3つ目は、偏光を見る能力があるということだそうです。

しかし、人間には単眼が2つあるだけなので、360°の視野はありませんし、特殊なサングラスでもかけなければ偏光を見ることも出来ません。しかし、豊かな感性があるため、いろいろな立場・視点から物事を見たり考えたりすることができます。このことを複眼になぞらえて、「複眼的思考」などといったりします。試験前は往々にしてゆとりがなくなるものですが、ちょっと困ったときには「複眼的思考」をしてみてください。

漢字コンテスト結果発表

満点者の部

1年 宮本 葉月

2年 北野 遥輝

3年 遊津 敬将

藤田 昂生

大塚 晃生

おめでとう

木村 友美

以上6名

高校生に混じって受ける漢字コンテストが始まって5年目になります。大学入試漢字のため難しい漢字が並んでいるのですが、満点者が6名も出ました。なかなか頑張っていると思います。1年生にとっては難しい漢字もありますが、漢字コンテストを利用して計画的に勉強する練習をしてほしいと思います。次回は10月25日にあります。試験範囲は124ページから161ページです。テストや習い事や行事の合間を上手に利用してコンテスト当日に力を発揮できるように頑張りましょう。

7月の行事予定

2日(火) 期末考査(～5日)

6日(土) 特進中学土曜特別授業、県模試(中3～高3)

11日(木) 午前中授業

12日(金) 午前中授業、漢字検定、中1確認テスト

13日(土) 特進特別土曜補習

16日(火) 午前中授業(短縮授業)、中1確認テスト、大掃除

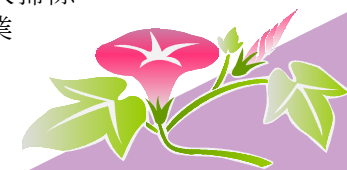
17日(水) 教育講演会、三者懇談会、中2・3技術授業

18日(木) 三者懇談会、中2・3技術授業

19日(金) 第1学期終業式、団別集会

22日(月) 夏期特別講座(前期)(～29日)

30日(火) 中学部宿泊研修(～31日)



中学教育講演会の開催について

昨年度、同様の講演会を父母と教師の会中学部委員会のお力添えで開催しましたところ、大変好評でした。その際、子ども達にも今日の話聞かせたいという強い希望があり、この度開催する運びとなりました。内容は大学入試の変革にあたり今後どのような学力が大切になるのかをお話しいただく予定です。

当日は、三者懇談を予定しております。そこでは個々の振り返りを行うこととなりますので、講演会では生徒達がちょっと先のことを考える時間を作ることが出来ればと考えております。対象は生徒ですが、保護者の方も来ていただくことも可能です。来られる場合は、事前にやりとり帳などを通じて担任にお知らせください。

日時： 令和元年7月17日(水) 9:30～10:30

場所： CS教室

対象： 附属中学校生徒全員

内容： 新しい大学入試制度について今やれること(仮題)

講師： 西川 佳奈 氏 (ベネッセコーポレーション)

☆生徒の皆さんは9:20までに登校するようにしてください。